

**製品名: ヒストン H3 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe83847**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ICC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.19mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:50-1:200,ICC 1:50-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 15 kDa ; Observed MW: 17 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	Histone H3
別名	Histone H3.1, Histone H3, HIST1H3A;;Histone H3
遺伝子 ID	
SwissProt ID	P68431
免疫原	ヒトヒストン H3.1 由来の合成ペプチド

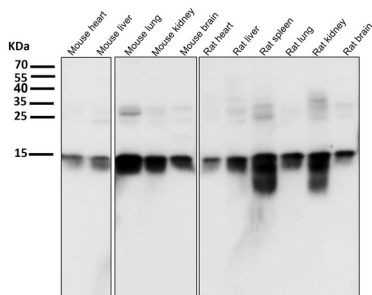
**背景**

ヌクレオソームの中核構成要素。ヌクレオソームは DNA をクロマチンに包み込み、DNA を鋳型として利用する細胞機構への DNA の

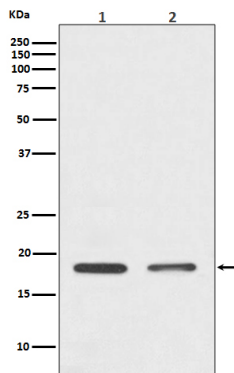
アクセスを制限します。そのため、ヒストンは転写制御、DNA 修復、DNA 複製、そして染色体の安定性において中心的な役割を果たします。DNA へのアクセスは、ヒストンの複雑な翻訳後修飾（ヒストンコードとも呼ばれます）とヌクレオソームリモデリングによって制御されています。

## 研究分野

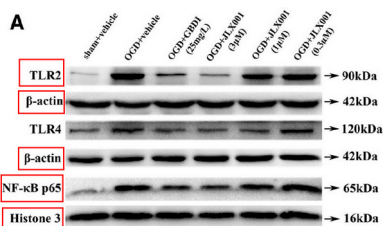
## 画像データ



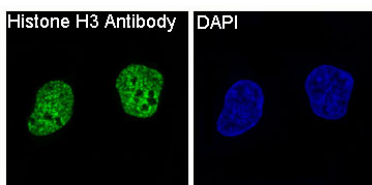
すべてのレーンでは、抗体を 1:2K 希釈で室温で 1 時間使用します。



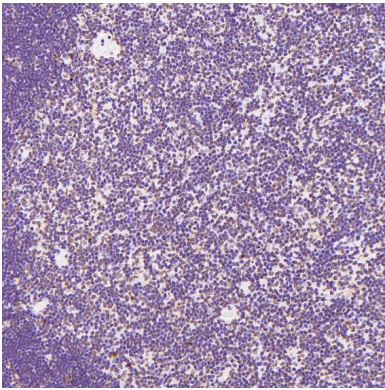
(1) HeLa 細胞溶解物、(2) 3T3 細胞溶解物におけるヒストン H3 発現のウエスタンブロット解析。



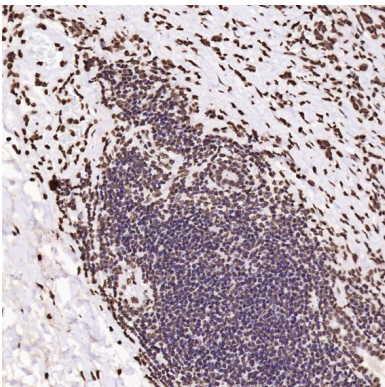
JLX001 は TLR2/4-NF-κB シグナル伝達経路を阻害することで pMCAO ラットの炎症反応と酸化ストレスを調節した。-神経化学研究



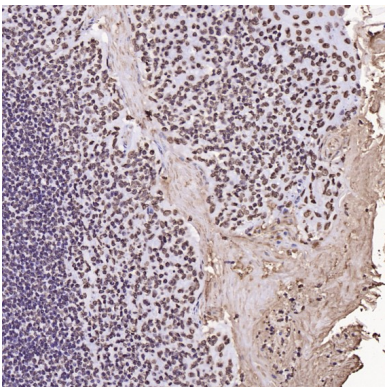
ヒストン H3 抗体を使用した HeLa 細胞の免疫蛍光分析。



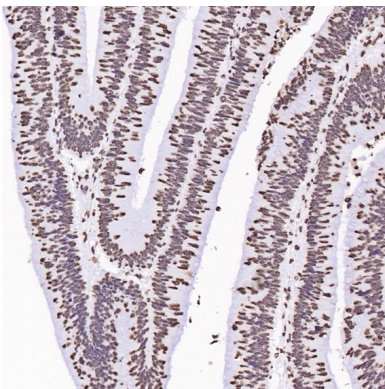
1:200 希釈の抗体を使用した、パラフィン包埋ラット胸腺の免疫組織化学分析。



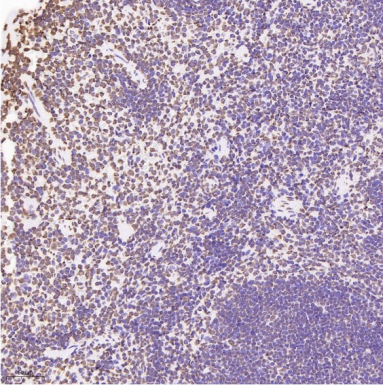
1:200 希釈の抗体を使用した、パラフィン包埋ヒト食道癌の免疫組織化学分析。



1:200 希釈の抗体を使用した、パラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。



1:200 希釈の抗体を使用した、パラフィン包埋ヒト大腸癌の免疫組織化学分析。



1:200 希釈の抗体を使用した、パラフィン包埋マウス脾臓の免疫組織化学分析。